

地域も音色も美しく

白石高校吹奏楽部の皆さんが清掃奉仕活動

10月21日、市中心部で白石高校吹奏楽部の皆さんが、通学路沿いなどに落ちている空き缶や枯れ葉などを拾い集める清掃奉仕活動を行いました。この活動は7年目を迎え、旧白石女子高校吹奏楽部時代から続く恒例行事。定期演奏会などに商店街から協賛を受けるなど、応援してくれている地域の皆さんに恩返ししようと、毎年行っているものです。

活動には、部員とその保護者など40人が参加。参加者は早朝から集まり、感謝の気持ちを込めて清掃活動を行っていました。



▲枯れ葉などを拾い集める参加者

和紙の美しさを多くの人に知ってほしい

壽丸屋敷で「白石紙子 創作和紙人形展」

11月1日～12日まで、「白石紙子創作和紙人形展」が壽丸屋敷で開催されました。柴田町の人形作家大槻幸子さんが和紙で作った人形約40体を展示。人形1体に5枚の和紙を使い、外観には、市内紙子工房が手掛けた「拓本染め紙」を用いて華やかさを表現しました。壽丸屋敷を訪れた観光客は、「布のような美しさ」と大槻さんの作品に感動。大槻さんは、「白石和紙や拓本染めの技術の素晴らしさ、美しさを多くの人に知ってほしい。その技術と伝統が次の世代につながっていったら」と話していました。



▲和紙人形を見つめる大槻さん

紅葉の南蔵王野営場を満喫

しろいし健康ウオーク 歩こう！ 南蔵王

10月20日、南蔵王野営場で「しろいし健康ウオーク」を開催し、約100人が紅葉の南蔵王と新鮮な空気を楽しみながら場内を歩き、交流を深めました。今回のウオーキングには、神奈川県海老名市の皆さんも参加。秋晴れの下、野営場の佐々木知明場長の案内で、コース内の見所や植物の説明を受けながら、思い思いのペースで大自然を味わいました。昼食はヘルスメイト白石の皆さんが振る舞った豚汁に舌鼓。海老名市の参加者は、「天気もよく、気持ち良く歩きました。ほどよい疲れが心地良いです」と笑みをこぼしていました。



▲揺れる吊り橋もウオーキングの見所の一つ。ゴールまでもう少し！

地域に広げよう！健康づくりとささえあいの輪

第4回健康福祉まつり

10月27日、「第4回健康福祉まつり」をホワイトキューブで開催しました。「健康増進」と「障がいの有無を超えた共存社会」の実現を目指して開催しているこのイベント。体力測定や歯の健診、ヘルスメイト白石による「野菜たっぷりお好み焼き」の振る舞いをはじめ、福祉団体によるステージ発表や視覚障がい体験、福祉施設の紹介など多彩なコーナーが設けられ、約1,900人の来場者でにぎわいました。「地域に広げよう！健康づくりとささえあいの輪」のテーマの通り、いろいろな団体が集まって交流を図り、絆を深めるイベントとなっています。



▲あけぼの小倉太鼓の皆さんも参加した和太鼓演奏

いつまでも長生きしてね

沼さんさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲ご家族などと一緒に記念撮影をするさんさん

11月16日、満100歳を迎えた沼さんさんを風間市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝福しました。さんさんは沢端のご出身で、片倉製糸工場や刈田病院の給食調理師として勤めながら2人の子供を育て、現在は孫が3人、ひ孫が5人います。趣味は読書や編み物、相撲などで、数年前までは新聞を毎日欠かさず読んでいたそうです。長寿の秘訣を「好き嫌いなく何でも食べること」と話すさんさん。現在はあさくらホームに入所中ですが、ご家族が祝いに駆け付け、「100歳おめでとう。いつまでも長生きしてね」と話していました。

広がる交流の輪

第21回白石・黒石市民文化交流大会



▲静寂の中に「パチン」という碁石を打つ音が響きわたる会場

10月27日、小原温泉ホテルいづみやで「第21回白石・黒石市民文化交流大会」が開催されました。

本市と黒石市の名にちなんで昭和63年に始まった親善囲碁大会。平成11年の第8回大会から将棋、平成19年の第16回大会から川柳を加え、市民文化交流大会として交流の輪を広げてきました。大会には両市から47人が参加。各種目に分かれ、真剣勝負の中にも時折和やかな場面も見られました。対戦結果は、囲碁の部は引き分け、将棋の部は白石の勝利、川柳の部は白石が惜敗し、総合成績では両市が仲良く引き分けました。

おばあちゃん100歳おめでとう！

佐藤あさ江さんに松竹梅敬老祝金を贈呈



▲ご家族と一緒に記念撮影をするあさ江さん

10月24日、満100歳を迎えた佐藤あさ江さんを太齋副市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝福しました。あさ江さんは大鷹沢のご出身で、結婚後は葉たばこなどの農業を手伝いながら6人のお子さんを育て、現在、孫が11人、ひ孫が15人います。編み物が得意で、セーターや靴下を編んで孫にプレゼントすることが好きだったというあさ江さん。現在は八宮荘に入所中で、この日はご家族のほか、入所者や施設職員も集まりお祝いしました。あさ江さんのご家族は、「おばあちゃんおめでとう。もっともっと長生きしてね」と話していました。

保護司活動の拠点として

白石地区更生保護サポートセンターが開所



▲今後の活動などを話し合う保護司や関係団体の皆さん

10月18日、刑務所や少年院を出た人たちの社会復帰を手助けする保護司を支えようと、「白石地区更生保護サポートセンター」の開所式が総合福祉センターで行われました。センターの開所は大崎、栗原地区に続き県内で3カ所目。保護観察者との面接や地域住民の犯罪や非行に関する相談、保護司間、関係団体との情報連携の場などに使用され、「保護司活動の拠点」としての役割が期待されます。白石地区保護司会の疋田正應会長は、「拠点ができたことは大変喜ばしい。志を高く持って活動を進めていきたい」と思いを新たに話していました。

◎白石地区更生保護サポートセンター ☎・☎24-2420